

# 同性愛差別 米軍変わる?

## 判明なら除隊撤廃へ動き

同性愛者であることを公言して米軍に勤務することを禁じた法律の撤廃に、オバマ大統領が本格的に動き出した。「あらゆる差別に反対する」とするオバマ氏にとって試金石とも言える政策転換だが、イラクとアフガニスタンで戦争を抱える米軍内からは「現場が混乱する」と反発の声が上がり、曲折は必至だ。

(ワシントン＝望月洋嗣)

### 「法は誤り 私が証拠」

「艦船で勤務しながら、同 3月中旬の上院軍事委員会の公聴会で、同性愛を理由に2002年に海軍を除隊処分になった経緯を説明した。1995年に海軍士官学校に入り、4年後に任務についたのです」

米海軍の元女性中尉、ジェ

た。しばらくして上官への手紙を出した後は、同性愛を隠さずに任務を続け、イラク沖などに派遣された。結果として除隊処分になったが、その是非を審議した軍の公聴会では、かつての上官2人が「彼女の性的指向は艦上の規律を混乱させない」と証言した。

「私はこの法律が誤っていることを示す生きる証拠。沈黙を強いられるのは間違いです」。コプスタインさんはそのように証言を終えた。

空軍少佐だったマイケル・アルミーさん(男性)も同じ公聴会に出た。父親やおじが

第2次世界大戦や朝鮮、ベトナムの各戦争で活躍した軍人一族の出身で、本人も優秀な軍人として何度も表彰された。しかし、かつてデパートした男性に戦地から送った巨額メールを同僚がみつけ、部隊の司令官に転送。これをきっかけに除隊に追い込まれた。「13年間の任務の中で私生活

### 軍内分かれる賛否

米軍はそもそも軍紀が乱れる恐れなどを理由に、同性愛者の入隊を法律で禁じている。だが、「差別的な措置」だとの批判を受け、入隊志願者に同性愛かどうかを聞いてはならず、本人も公言はしないことを義務づけた通称「ドント・アスク・ドント・テル(聞かない、言わない)」と言われる修正が、クリントン政権時代の93年に加えられた。

だが、本人が黙っていても第三者からの情報で同性愛がわかれば除隊になる状況は変わらない。93年以降、約1万4千人が同性愛を理由に除隊処分になり、現在も6万6千人が処分を恐れている、などとする推計もある。

差別撤廃を訴えるオバマ氏は08年大統領選で「語学専門家が高い能力を持つ人が軍を追われており、非生産的」と

### 「不公平で反米国的」

法律撤廃の世論が盛り上がった背景には、除隊覚悟で差別解消を訴えた現役士官らの動きがある。運動の中心メンバーである韓国系の米陸軍中尉ダニエル・チョイさん(28) 写真に聞いた。

07年11月にイラクから戻り、男性と恋に落ちた。うそをつき続けることは、相手にも両親にも不誠実だと考えた。周囲に伝えるまで1年以上かかった。「結婚するなら韓国女性」と願っていた両親に打ち明けた時は、「異性愛になるよう一緒に祈ろう」と言われた。しかし、昨年3月にテレビに出て、親類や陸軍士官学校の同期生たちにも話すうち、「同じように奮闘する人々のメッセンジャーになる

差別解消を訴える現役士官 ダニエル・チョイさん



う」と考えた。軍では、異性愛者は自分の「愛」を語れるのに、同性愛者は真実を語る権利を奪われている。同性愛者のパートナーは戦死の通知も受けられない。不公平で反米国的だ。非道徳的なこの法律を破ることは道徳的な人間の責務だ。同じ悩みを持つ士官らと法律撤廃を求めるグループを作り、80人が一緒に運動している。理由は分らないが、私の除隊手続きは途中で止まった状態にある。

イラクでは「死の三角地帯」と呼ばれる激戦地で治安回復や復興支援を担った。私が以前から同性愛だと知っていた同僚もいたが、任務遂行には何の支障もなかった。

銃弾が飛び交う状況で、同僚が白人か黒人か、同性愛か異性愛かなんて考えない。昨年50回以上もテレビに出たが、それを前線基地で見た仲間から励ましのメッセージも届いた。同性愛者は既に軍の中に溶け込んでおり、特別な対処は必要ない。私がその証しだ。

法律撤廃を公約。今年1月の一般教書演説で、具体策をまとめる方針を示した。撤廃推進派は同性愛を理由に優秀な人材が失われ、米軍の戦力低下を招いていると指摘する。だが、軍幹部の間でも意見は割れる。米軍制服組トップのマレン統合参謀本部議長は2月初旬の議会公聴会で「同性愛者がそれを隠さずに勤務することを認めるのは、正しいことだ」と語った。

一方、海兵隊のコンウェイ総司令官は別の公聴会で「現在の法律は機能している。維持すべきだ」と撤廃反対を明言。ケシー陸軍参謀総長も「法律撤廃が二つの戦争に取組み部隊に及ぼす影響を懸念する」と消極的だ。

国防総省は調査チームを作り、同性愛者とその事実を告げて勤務した場合の影響などを、12月までに報告書にまとめる方針だ。結論が出るまでは、除隊処分は行わず、沈黙を守る現役の同性愛兵士を保護する措置を続けている。

米調査会社ギャラップによると、米国民の69%は法律撤廃に賛成している。この問題に取り組み米軍関係者は「同性愛者勤務の影響がほとんどないことは、過去の調査でも分かっている。すぐに撤廃できるはずだ」と話している。



世界発

2010

米ホワイトハウス前で4月、鉄製のさくし手錠で自らをつなぎとめて、「聞かない、言わない」への抗議活動をする人々。左から2人目はチョイさん＝AP